

わ し

和紙

の

ひみか

展

2022年7月15日(金) - 9月5日(月)

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週火曜日

入館料 一般300円、高校生以下無料(団体200円)

会場 越前和紙の里 紙の文化博物館(越前市新在家町11-12)

みんなで和紙のひみつを探ってみよう!

和紙は、主にコウゾ・ガンピ・ミツマタなどの植物の皮を使って作られています。

そんな和紙は、私たちがふだん使っている紙と、どうちがうの？

そもそも和紙はどんな紙なんだろう？

いろいろな和紙をじっくりみたり、さわったりして、どうして？なんで？という和紙のぎもんを探ってみましょう。

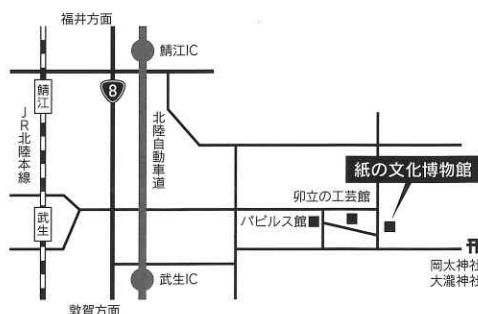
越前は、今もむかしも変わらない、日本を代表する和紙の産地です。山々に囲まれた産地には、たくさんの紙すきの工房があり、いろいろな種類の和紙が、今もたくさん作られています。

和紙のひみつ展では、むかしから産地に受けつがれている高い技術や歴史、和紙の基本についてしょうかいします。



入館料	大人	高校生以下
個人	300円	無料
団体	200円	無料

- ※身体障害者手帳、療育手帳又は精神保健福祉手帳の交付を受けている方は、150円
- ※団体は、15名以上の場合に適用
- ※入館料は、紙の文化博物館・卯立の工芸館と共通



- 電車**
- JR大阪駅～武生駅 (特急2時間)
 - JR名古屋駅～武生駅 (特急2時間)
 - JR金沢駅～武生駅 (特急1時間)
- 自動車**
- 米原JCT～武生I.C (北陸自動車道1時間)
 - 武生I.Cより10分
 - JR武生駅下車後、タクシーで20分
 - 福鉄バス南越線で30分、和紙の里下車 徒歩3分

和紙の里 同時期開催企画展

- 卯立の工芸館
「ドイツ人作家による神和紙の表現展+日本人作家展」
会期：7月2日(土)～7月24日(日)
- 「若手職人三人展」
会期：7月30日(土)～8月29日(月)

- 紙の文化博物館 1F
「メガネのおじいちゃんが和紙で作る フェイクフード展」
会期：7月6日(水)～9月26日(月)
- 紙の文化博物館 別館
「天井画襖絵師 斎灯サトル展」
会期：7月6日(水)～9月26日(月)

